

いけんひろば

してん おおさか かんさい ばんぱく
こどもの視点で大阪・関西万博を考えよう

しょうがい う む かか
～障害等の有無などに関わらずみんなが楽しめる万博に！～

しりょう
フィードバック資料

れいわ かいさい
令和6年10月26日（対面開催）

わかもの
2024年度こども若者★いけんぷらす

目次



かいさい がいよう
1. 開催概要

2. いただいた意見の活用について

はんえい
3. 意見の反映について



かいさい がいよう
1.開催概要

テーマ	こどもの視点で大阪・関西万博を考えよう ～障害等の有無などに関わらずみんなが楽しめる万博に！～
担当省庁	内閣官房
参加対象者	ぷらすメンバーのうち、小学生～高校生年代
テーマ説明	大阪・関西万博の会場は、世代の違いや病気や障害の有無等に関わらず、みんなが利用しやすいことが大切です。 そのため、万博会場が車椅子でも活用しやすいか等の情報や、障害があるこどもでも催しや展示等を見学しやすい代表的なルートを、皆さんに広く示してはどうかと考えています。 そうした中で、内閣官房では、病気や障害のあるこどもたちの意見や希望を取り入れて検討していきますが、広くこどもの視点で、どのような体験をしたいか、どのような会場なら利用しやすいか等を知りたいと考えたので、皆さんから意見やアイデアを募集します。
開催日時	令和6年10月26日(土)14:00～16:00
開催場所	こども家庭庁
参加人数・グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1班・・・5人(小学生) ➤ 2班・・・4人(小学生) ➤ 3班・・・5人(小学生) ➤ 4班・・・6人(中学生、高校生年代) ➤ 5班・・・5人(高校生年代)

2. いただいた意見の活用について



今回のいけんひろばでいただいた意見は、
なんびょう たち おおさか かんさいばんぱく
難病の子ども達が大阪・関西万博に来ることを助けるため、
テーマパークやパビリオン等のバリアフリー かんれん ちようさ 関連の調査などに、
活用しました。



たと
例えば、

- ① だれ 誰に、またはどこで、どのような調査をするべきなのか、
- ② その調査で分かったことのうち、どのようなことを、どのように、
難病の子ども達やご家族に しめ 示すか、
を考えることに活用しました。

2. いただいた意見の活用について（つづき）

① 誰に、またはどこで、どのような調査をするべきなのか



文献(本やインターネット)調査やヒアリング(聞き取り)調査を行うテーマパークや
 行楽施設を選んだり、ヒアリングする内容を考えること等に活用し、理解を深めたり、
 万博会場におけるバリアフリー体制と比べて考えたりするのに役立てました。

万博会場全体や
 個別のパビリオン等



一般のテーマパークや
 行楽施設

なんでそんな調査するの？

難病の子ども達が大阪・関西万博に来ることを助けるためです

内閣官房では、特別な支援が必要な子どもたちを万博会場に招待するための仕組みや、会場に行くことが難しい子どもたちに万博をきっかけに特別な体験を得てもらうための手法等を考えています。その中で、万博会場全体や個別のパビリオン等と、規模や運営が似ているテーマパークや行楽施設に対し、資料を調べたり聞き取り調査をして、バリアフリー設備等について研究し万博会場と比べて考えました。その結果は、次のページに紹介するリーフレットにも役立てました。

2. いただいた意見の活用について（つづき）

② その調査で分かったことのうち、どのようなことを、どのように、難病の子ども達やご家族に示すか

内閣官房で作成したリーフレットに、どのようなバリアフリーの情報を載せるのかや、車いすでもイメージしやすい万博会場内コースの例を考えるのに役立てました。



リーフレット

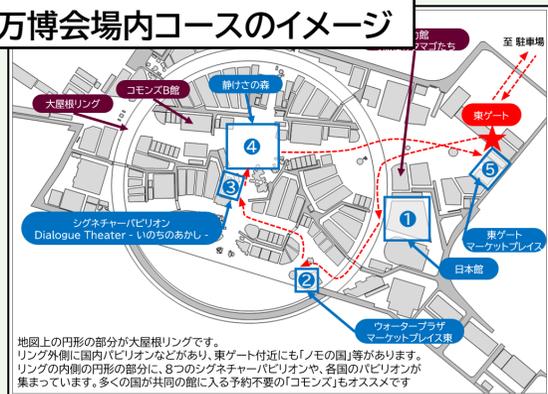
難病・障害のある方とそのご家族を主な対象として、ユニバーサルデザインに関して、より具体的で安心できる情報を伝える目的で作成した、個別のパビリオンの中の見取り図なども紹介されているインフォメーションブック。(2025年5月)



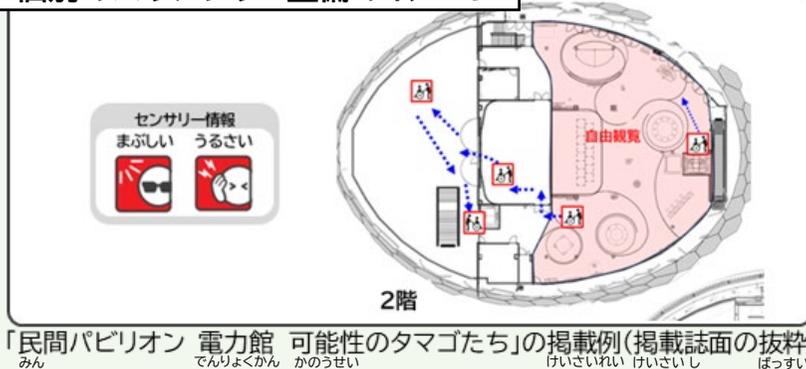
表紙のイメージ



万博会場内コースのイメージ



個別のバリアフリー整備のイメージ



3.意見の反映について



みなさんからいただいた意見は、以下のように分けることができます。
※詳しくは、【いけんのまとめ】と【報告資料】を見てください



みなさんの意見の分類

これまで楽しかったテーマパークやイベントの体験について

スタッフのうれしかった対応や助けてもらった経験

- ・気持ちも盛り上げてくれるスタッフの対応
- ・困ったときにスタッフに助けてもらった経験

楽しかったイベントやアトラクション

大阪・関西万博で見学・体験をしたい催しや展示などについて

見学・体験したいと思う展示

- ・あったらいいと思う展示・体験
- ・パンフレットを見て、見学・体験したいと思った展示・体験

催しや展示以外に見学・体験したいこと

難病や障害のある方が過ごしやすいようになるために役立つと思うもの・こと

難病や障害のある方に対して心がけるとよいこと

- ・適切なサポートを考える・行う
- ・必要以上の関与をしないで一緒に活動する

難病や障害のある人が過ごしやすいようになるために役立つと思うもの

- ・移動に役立つもの
(公共交通機関の工夫、障害者専用ルートの設置、等)
- ・移動以外の様々なもの
- ・耳に障害のある人が過ごしやすいようになるもの
- ・目に障害のある人が過ごしやすいようになるもの

難病や障害の有無にかかわらず、みんなが過ごしやすいようになるために役立つと思うもの

3.意見の反映について



みなさんには、調査等をどうするべきかを直接聞くのではなく、
実際にした経験、してみたい経験など、みなさんが考えやすいテーマを話し合ってもらいました。
そして、みなさんの意見を聞いて分かったポイントや気づきを調査等に役立てました

みなさんで万博や障害のこと
幅広く活発に話し合い

こんな気づかいうれしいね!

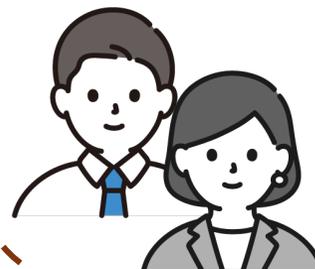


こんなの あったら たのしそう!

調査やリーフレット(案内)の内容



ないかくかんぼう
内閣官房



ポイントや気づきを得る

反映

3-①.意見の反映について

①誰に、またはどこで、どのような調査をするべきなのか

みなさんからいただいた主な意見

みなさんの話し合いでは、具体的なテーマパークについての意見もたくさんありました。

これまで楽しかったテーマパークやイベントの体験について

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは並び列の上にモニターがあり、乗ろうとするアトラクションに関する映像が流れていて、見て暇をつぶせた。

他にも、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン関連の意見
また、東京ディズニーリゾート関連の意見

難病や障害のある方が過ごしやすいようになるために役立つと思うもの・こと

車いすは幅をとるが、車いすの幅を気にしないでみんなで見られる広い空間にできるといい。

他にも、障害や実情に合わせた配慮に関する意見

障害がある人がいたり、人と話すのが苦手な人がいたりして、楽しさの定義が人によって違う。いろいろな人のそれぞれの楽しさを尊重することができたら、全員の楽しさを増やすことができると思う。

他にも、多様性の尊重や特別扱いしないことに関する意見

いただいた意見を調査等に反映

みなさんの話し合いを、全体的に捉えて、反映すべき点を以下のように考えました。

(1)調査を行う施設の選定

東京ディズニーリゾート、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、レゴランド東京については、バリアフリー設備や難病の子どもを受けいれた実績について、ヒアリング(聞き取り調査)を実施。

いろいろなテーマパークが話に出てきましたが、特に、東京ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパンは様々な観点で話されたので、調査する必要性が高いと感じました。

(2)文献調査やヒアリング内容

会場内における、スロープやトイレ、エレベーター等のバリアフリー整備や、個別の対応状況について調査。

アトラクション等における、難病の子どもに対する待ち時間・待機場所の配慮の有無や内容について調査。

3-②.意見の反映について

②その調査で分かったことのうち、どのようなことを、どのように、難病の子ども達やご家族に示すか

みなさんからいただいた主な意見

みなさんの話し合いでは、どんな配慮が大事か、具体的な意見がたくさんありました。

大阪・関西万博で見学・体験をしたい催しや展示などについて

展示よりも体験が多いと嬉しい

他にも、未来の技術や、具体的にこのような体験がしたいとの意見

難病や障害のある方が過ごしやすくなるために役立つと思うもの・こと

スロープを増やすと車いすの人も移動しやすくなると思う

他にも、移動しやすくすることに関する意見

ピクトグラムを活用する

他にも、情報を分かりやすく伝えることに関する意見

ペンみたいなおもちゃを各エリアの装置にかざすと、曲が流れて言葉を読み上げて説明してくれるサービスがあればいい

他にも、障害に応じた情報の伝え方に関する意見

人混みが苦手なパニックを起こしてしまう人もいます

ので、救急室を用意する必要がある。

他にも、子育て中の方が使える部屋等、個室に関する意見

いただいた意見をリーフレットに反映

みなさんの話し合いを、全体的に捉えて、反映すべき点を以下のように考えました。

(1)モデルコースの掲載

未来の技術等、体験型の館を中心に内容も含めて紹介し、エレベーター等の移動を助ける設備等を始め、館内外を安全に移動できることが分かるモデルコースを掲載しました。

(2)会場内の情報を伝えやすくする工夫について掲載

スマホをかざすと音声案内が流れ、目が見えにくい人の移動や、展示内容の理解を助けるアプリや、遠隔手話サービス等について、また、会場内のピクトグラムも載った、会場内のバリアフリーマップを掲載しました。

(3)各種スペース、施設やそのサービスについて掲載

パニックのときに落ち着けるカームダウン/クールダウンルームや、会場内で体調が悪いとき等に手当を受ける診療所、授乳やおむつ交換等ができるベビーケアルーム、迷子センター等について掲載しています。



3-③.意見の反映について

わたしの
私たちの意見、反映してくれてないんじゃないですか？それは、なぜですか？

いけんひろばでは、幅広い意見をもらいました。せっかく発言したのに、反映されていないと感じることもあるかもしれません。以下の例は、それぞれ、どのように扱われたのでしょうか。

反映が難しかった例

みなさんが反映されてないと感じると想定されるものをいくつか挙げてみました。

万博会場に自分の言った対応がされていなかったり、ものがない

自分は空飛ぶクルマに乗る体験がしたい。

障害がある方だけの専用ルートを作ると良いと思う

他にも、具体的にこのような展示、対応をしてほしい等の意見

リーフレットに掲載されていない

万博会場の床にイラストがあると面白い。楽しいスポットにできたら良い。

AIやロボットが案内してくれて、行きたいところまで連れて行ってくれる支援(中略)があると良い。

再入場を出来るようにしてほしい。

他にも、具体的にこのような展示、対応をしてほしい等の意見

このような状況になっています

(1)なぜ万博会場内で対応されていないのですか？

・今回の「いけんひろば」は、万博会場で何をすべきか決めるために実施したのではなく、「難病や障害」というテーマを絞りつつ、それに関連する調査等に役立てるために実施したからです。

・各パビリオン等では万博のために大変な準備をしてきましたが、必ずしもお客さんが思うとおりにできたわけではありません。

・左の例では、空飛ぶクルマは乗れませんが、飛ぶのを見ることができます。障害のある方「だけ」ではありませんが、ベビーカー等を含め、ゲートや多くのパビリオンに優先レーンがあります。

(2)なぜリーフレットに掲載しないのですか？

・会場の床のイラストや、視覚障害者の道案内ロボット「AIスーツケース」もありますし、当日中の再入場も可能です。

・一方で、今回のリーフレットはテーマを絞っているから、会場にあるものを、もれなくすべて紹介することは、逆に分かりづらくなると思いました。